

---

# 慈 恵

---



---

平成22年春彼岸号(春季)

---

No.30

宗教法人 慈 恵 院 付属 多磨犬猫霊園



柳瀬有禅老師

揮毫

樂しみは

春のさくらに

秋の月

一家仲よく

三度くうめし

人の評価は…

妙心寺に住し、のち山内の靈雲院に退隠した大休宗休は、今川義元の帰崇を受け、駿河の臨濟寺に招かれ、のちには尾張犬山の瑞泉寺にも入った人である。

大休は、人が来て他人をほめることがあると、必ずたずねたものだ。

「ほう、その人は死んだ人か」

「いえ、今まだ現存の人です」

と答えると、大休は、

「ならば、ほめることは無用じゃ。その人も、これから先、どんな仕そこないがあるかも知れん」

といったという。また逆に、人を悪くいうものがあると、

「その人は死んだ人か」

「いえ、まだご健在です」

「ならば、そのすることは無用じゃ。これから先どんな手柄をたてるかも知れん。人の善悪は死後にならねば申せぬものじゃ」

というのがつねであつたという。

天龍寺の策彦周良さきひこしゅうりょうが武田信玄に語った話として、『甲陽軍鑑』に納められている。

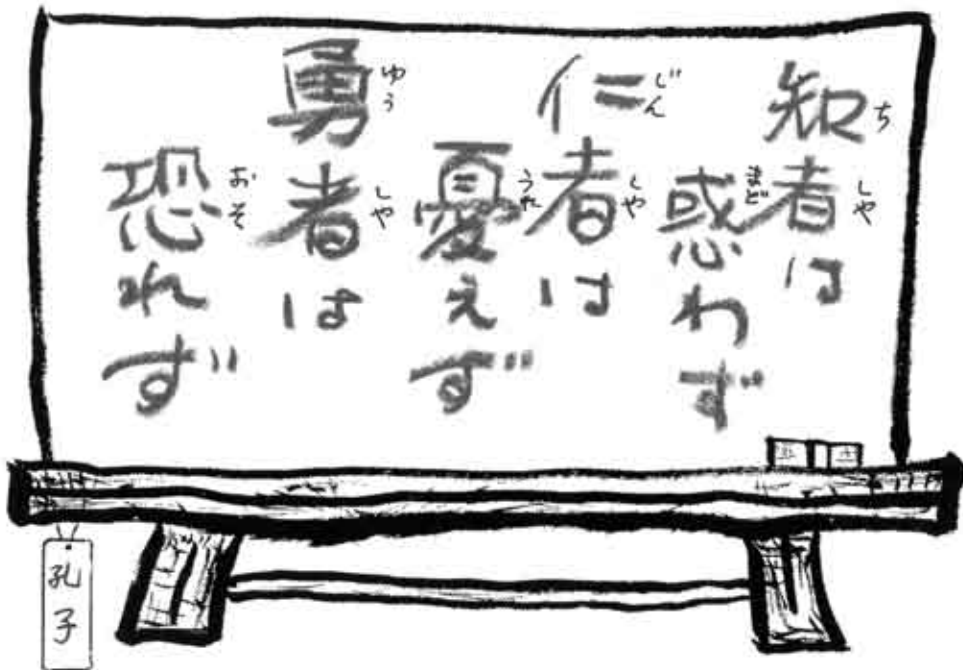
「禅門逸話集成」より

大休宗休（一四六八〜一五四九）

臨濟宗。龍安寺の特芳禅傑に嗣法。妙心寺、臨濟寺、

瑞泉寺に住した。

掲示板





No.1

## ミネは、父の 自慢の北海道犬

八王子市 T・O

その犬の名は、峯の錦。通称ミネ。我が家にとつて、2匹目の家族。遠く栃木の大田原からりんこの木箱に乗って（入って）やって来た。今から35年以上も前の話。父の自慢の北海道犬。今でこそCMなどで有名な犬種だが、当時はまだ、余り知られていなかった。父は事あるごとに、「北海道犬は、熊狩りに使う、勇敢な犬なんだぞ」と、まだ中学生だった私に自慢げに話した。

そのミネが、私たち家族の一員になったのは、私が中学1年

の夏休みの終わり。休みも、あと残り1日2日と言う日。私は父と共に旧国鉄の八王子駅にミネを迎えに行った。りんこの木箱の中の赤茶色した子犬は、差し入れた私の手を頻りに舐めていた。まだ耳の先端が少し垂れ、鼻先も黒かった子犬。

家に連れてきた後、父は忙しい合間を縫ってミネの為に小屋を作ってやった。一方私も、友達と遊ぶのもそこそこにミネとの楽しい時間を過ごした。何処へ行くのにも一緒だった、私とミネ。いつも一緒だった。

でも、時が過ぎてミネも大きくなり、子犬の時は可愛いと思つて面倒をみてきた私だが、勝手なもので段々ミネから心が離れていった。また以前の様に友達との時間の方が大事になり、ミネを置いて出掛ける事が多くなった。そんな時、ミネは柵の向こうから、「ねえ、僕も連れて行ってよ。昔は何処へ行くの

にも一緒だったじゃない」と言っていただろうに。寂しかっただろうよ、ミネ。ひとり置いていかれて。

そのミネも10歳を迎える頃、フィラリアの為、腹水と咳で辛い毎日を送るようになった。もう自分で歩く事さえ困難になったミネを、私は毎日、抱いて川原まで用足しに連れて行った。小さい頃からの習慣故、自分の敷地内では決して用足しをしなかつた為。

でも、逝く当日だったのだろうか？それとも前日だったのだろうか？初めて庭で便をした。もう何日も点滴だけで過ごしていたミネだが、元気な時と変わらぬ大きな便を。

便をした後、ミネは、「何処にそんな体力が残っているのだろう？」と思えるほど、力いっぱい尻尾を振り、私に近づいてきた。よたよたと歩いて。それは後々思うと、「今までどうも

有り難う」と言っていた様に思える。

本当に立派だったミネ。やっぱり父の自慢の北海道犬。最期まで本当に立派だった。

今ミネは、その後10年経つて我が家に来て来たクロと共に、慈恵院で供養をお願いしている。

## 頭の体操

— 大人のおあそび —

世田谷区 細井貞一 (84)

三(3)と言う数字について考えてみませんか。

遠い昔の話ですが、私が中学生の頃、私の家には、可愛い三毛猫が一匹いました。この猫は、良くネズミを捕る頼母しい猫だったのです。冬になるとこたつの中で眠ったり、夜になると私の寝床に入ってきて眠ったりしました。それはそれは暖かい「カイロ」の役目を果たしてくれま

した。それだけに遠い昔の思い出となつています。その三毛猫の三の数字に何故か魅せられてこの数字に拘こまるようになってしまいました。後日そのことに拍車をかけたのは、昭和三十三年のことでした。あの有名な長嶋監督が巨人軍に入団し、三塁手としてデビューし、さらに背番号3を背負つてプレーしたのである。なんと三という数字が四つ頭の中では、三毛猫の三といい、長嶋選手に係わる三といい、ますます三の数字が駆けめぐるところになりました。このことがきっかけとなり、三の数字に係わりを持つ事ながら、行事、諺、言い伝え等々について思い浮かんだ事々を述べてみたいと思うようになりまし。まずは、お祝い事に関する事として、「七、五、三」の三です。次は、「三々九度の杯」の三々です。次に言い伝えとか、神妙に係わるこ

とに出てくる三です。「三方」の三です。これは、神前に供え物をする時に使われる物の名です。また、「三種の神器」の三です。剣、鏡、まが玉のことです。次は、諺の部類ですが、人間修業に関するものです。「石の上にも三年」この三です。じつと我慢していれば、いつかは成功の道が開けてくるということでしょう。次は、スポーツの明暗に関することです。投手に明。打者に暗となる「三球三振」の三です。さて三文記事、三大新聞等の三もあります。ところで、またまた三のつくことばはあると思ひますが、例示はこの位で止めます。終りになりますが、三の数字は、私にとつては福を呼び、夢を描かせ、ときめきを呼び起こしてくれる数字だろうと思ひています。

時には、つまらないと思われ  
ているような事でも考えてみる  
一つまり、大人のおあそびでも  
してみたら如何でしょうか。  
燦々と輝く太陽の光を浴びな  
がら散歩中に浮んだことごとを  
述べた次第です。失礼いたしま  
した。



## 近所の犬、ボア。

杉並区 服部壽子

我が家で飼つた動物たちと  
もにどうしても忘れられない近  
所の犬ボア（仮名雑種）がいる。  
もう40年近く前のことだが我  
が家には全盲のブリティッシュ

コッカースパニエルのシェリー  
がいた。長いひもで家の内外を  
行き来し、お散歩だつて人間の  
リード操縦によつて元気に過ご  
していた。当時は普通だつたの  
かもしれないが近所の犬ボアは  
自由に放し飼いにされていた。  
そのためボアはよくシェリーの  
ところに遊びに来ていた。ある  
時帰宅するとシェリーがいない。  
シェリーを繋いでいた革のリー  
ドが噛み切られている。急いで  
近所を探すと切れたリードを口  
でくわえたボアとシェリーが。  
その後何度かリードは噛み切ら  
れ、あるときはその当時よくあ  
つた道の脇の小さなどぶ溝にシ  
ェリーが落ちていたときもあつ  
た。どうしてつながれているの、  
自由に外に遊びに行こうよ、今  
連れて行ってあげるから、君が  
大好きなお散歩に行こうよ。ボ  
アの気持ちに手が取るように感  
じられた。  
当時中学生だつた私は、学校

に通うため地下鉄まで15分歩いていて、私が出かける時間を待っているかのようにポアは私を先導しながら地下鉄まで見送ってくれていた。私は、先に行くポアに途中わざと隠れて少しするとあわてて探しに戻るのを楽しんでいたりした。さすがに青梅街道近くまでくるともう危ないから帰るようになるときつく指示。その後ポアはそのまま私の家に行き、見送ってきたよと挨拶をするかのように母から煮干をもらっていたようだ。とても利口な犬だった。家の引越しなどがあり、しばらくしてその後ポアが人を噛んで保健所へ送られてしまったと悲しい話を聞いた。私には決してそのようなことをした犬とは今でも思えないでいる。



人間の世界にも高齢化が進んでおりますが、ペットの方にも多々見かけられるようになりました。そこで飼主さんにも、我々獣医師と一緒に頑張ってその対応を考える必要が増しています。

良く見かけるものは、腫瘍、心臓病、骨関節症、前立腺腫大、歯疾患、口内炎、慢性腎炎、尿毒症、肝性脳症などです。腫瘍も高齢動物では肥満細胞腫では外科治療出来ないものもある様でインターフェロンとステロイドで治療する以外ないものもあり困っております。猫の乳腺腫瘍も肺転移したものは手術出来

ず、みすみす放置させてもらっておりません。放射線治療施設でもあればよいのですが、高度医療をお願いする以外にはなく、未熟さを感じております。尿毒症では不可逆なものがあ、飼主さんに三月治療して治癒しないものには、苦しいのですが安楽死も提案せざるを得ないものもあります。猫の慢性便秘も多く、胃腸の病気よりも骨の病気が主体となつて骨盤が狭くなり難治性のもとなつて大変です。それにはカルシウムの添加で少しは改善しています。一番飼主さんが大変なのは老齢性脳炎で

# ペットの高齢化に備えて

慈愛動物病院 院長 東島 英二

す。夜になると鳴きわめき近所に迷惑をかけるといったものです。獣医師も殺さず静かにしたために努力しますが、なかなか効果を望めず、最終的な手段を取る結果になることが多いようです。飼主さんの御努力には敬意を表したい先例を多々見えて、何か解決の方法を神様にお訪ねしたいものです。



Q 「古希」って

なあに？

(答えは10ページ)

# 『巡り歩きながら、想う』

大石動物病院 院長 大石隆通

私事ではありますが、数年前からメタボ対策として、休診日にはひたすらウォーキングに努めているのです。

飼い主さん方や同級生に「太ってますよね〜」なんて言われても、以前は気にも留めなかった自分ですが、不惑の歳を迎えてからは、患者さん達の健康とともに、自分自身の健康にも気を遣わなければならないと考えようになってきました。

ある日、府中の大國魂神社を歩いていた時、参道に架かる灯笼籠に、大國主命が泣いている白兔を慰めている絵が描かれてい

るのを見掛けたのです。

大國主命が、ワニザメに皮を剥かれて悲しむ因幡の白兔を親切に癒したという古事記の物語の一場面を描いたものですが、私は、大國主命は古代における獣医療や動物愛護の先駆者の一人ではないかとも思います。

お寺や神社に動物との関わりがあるって面白いなあ！（…少々不謹慎ですが…）と思い、以後はそうした由来のある寺社を巡り歩こう、カローリも消費できるし、第一、お金がかからない！そろそろ厄年でもあるし、厄除けも兼ねることができて一石二

鳥！

…などと、煩惱の抜けないまま、今もあちこちをウォーキング（巡礼？）しております。

数ヶ所、ご紹介したいと思えます。

意外と知られていませんが、港区六本木には先程の大國主命をおまつりする出雲大社の分祠があります。地下鉄六本木駅の近くの小さなビルがそのまま拝殿になっている、珍しい造りのお社です。私も先日、賑やかな六本木通りを歩いてお詣りしましたが、「なぜ、こんな場所に？」と思わずにいられないお社です。大田区池上にある池上本門寺も、私のお気に入りのウォーキングコースの一つです。小高い丘の上であり、坂道の多い場所ですが、見晴しも良く、春には近接する池上梅園の梅を拝観することもできます。ここは日蓮聖人が身延から常陸への旅の途中、入滅された地として知られ

ていますが、日蓮聖人が旅の間乗用されていた「くりかげの御馬」をととても可愛がっておられたという、ほほえましい逸話が伝わっています。

川崎大師として知られる平間寺は、参道に飲食店やおみやげ屋さんも多く、ウォーキングするにはなかなか楽しい場所です。境内には、聖徳太子をおまつりする小さな祠堂があります。聖徳太子は日本の仏教史上の偉人として、あまりにも有名ですが、「馬医（今でいう獣医）」の祖としても信仰されてきました。太子は乗用馬である「黒駒」という馬を大変可愛がっておられたが、あるとき、食欲がなくなり、衰弱していたのを太子が癒したという伝承があるからです。生き物に対する慈愛の心や精神が、この様に古代の物語や神社の歴史の中に数々遺されていること、現代に伝えられていることは、とても意義深いと思います。

私はウォーキングで各地を巡りつつ、昔の人々の動物達に対する優しい気持ちにも触れた気がするので。さて、ウォーキングからね（笑）。

の効果はどうであったか、と言われれば、実はあんまり外見は変わってない。ウォーキング後のメシは美味しくなりますから。

# 歌壇

小平市 三木 桂子

○ 古稀半ば父母のふるさと吉備路へと

姉弟揃いて墓参の旅となりぬ

○ 爆撃機頭上を旋回清洲橋

逃げ惑う悲鳴怒濤の如く

## 春じよみ

5 月	4 月	3 月	
	4 / 4 (花まつり) 降誕会	3 / 18 入り 3 / 21 中日 3 / 24 明け 彼岸会	当山行事
● 5 / 5 立夏 鯛の尾の張りし立夏の背負籠(青木緑葉) ● 5 / 21 小満 小満やあやめにまじる薄荷草(那須弥生)	● 4 / 5 清明 清明や垣根に白き花ゆすら(岩見寐醒) ● 4 / 20 穀雨 伊勢の海の魚介豊かにして穀雨(長谷川かな女)	● 3 / 6 啓蟄 啓蟄のもの驚かせ 午後の風(星野立子) ● 3 / 21 春分 春分の入日笹子に今滾つ(行人)	二十四節気
5 / 2 八十八夜 5 / 3 憲法記念日 5 / 4 みどりの日 5 / 5 端午の節句(菖蒲の節句)(こどもの日) 5 / 9 母の日	4 / 8 花まつり 4 / 29 昭和の日	3 / 3 上巳の節句(桃の節句)(雛祭り)	祝日等

「こよみ事典」東京美術 参考



# 桃の節句と縁起のいい食材

ながた内科クリニックス 院長 永田 宏

## 桃の節句の由来

桃の節句の歴史は古く平安時代、上巳の節句（現在の桃の節句で、葉草で体のけがれを祓い健康と厄除けを願う行事）と宮中の紙の着せ替え人形で遊ぶ「ひいな遊び」が融合し、自分の厄除けの代わりに紙人形を川に流す「流し雛」へと発展していきました。室町時代になるとこの節句は3月3日に定着し、紙の雛ではなく豪華なお雛様を飾って宮中で盛大にお祝いするようになったそうです。

雛祭りとは高貴な生まれの女の子の厄除けと健康祈願のお祝いとしての「桃の節句」が、庶民の間にも定着して行うようになったお祝いです。ですから、単なるお祭りではなく、お七夜やお宮参りと同じく女の赤ちゃんに降りかかろうとする災厄を、代わりに引き受けてくれる災厄除けの守り神のようなものなので、省略せずにきちんとお祝いしてあげてください。



## 菱餅の由来

菱餅の三色には意味があるのを知っていますか？緑は草萌える大地を、白は雪の純白を、ピンクは桃の花を表しているそうです。つまり春近い季節、雪の下には緑の草が息づき始め、溶けかかった雪の残る大地には、

桃の花が芽吹くという風情のある組み合わせなのです！

## 雛祭りの縁起物の食材

蛤（はまぐり）

女の子の美德と貞操を意味します。雛の節句にはなくてはならない祝儀物です

鰯（かれい）

京都の雛祭りに使われるようです

烏賊（いか）

縁起物と考えられています

田螺（たにし）

縁起物と考えられています

蓬（よもぎ）

葉効があり、菱餅の緑に使われます

海老（えび）

縁起物の定番！海老の赤は生命を表します

鯛（たい）

おめでたいときの定番ですね

## お彼岸のご案内

・入り 3月18日（木）

・中日 3月21日（日）

動物供養の合同法要  
（午後1時、本堂にて）

3月22日（月）

先祖・水子供養の  
合同法要  
（午後1時、瑞法殿にて）

・明け 3月24日（水）

※別院については直接  
お問合せ下さい。

